

動物園応援基金

どうぶつえんおうえんききん

自然と人がともにある未来を目指して

はじめに

札幌市では、動物園が果たすべき社会的役割や運営目的等を明らかにし、その活動を市民・事業者との連携を図りながら推進することで、将来にわたり野生動物が存続できる、「自然と人が共生する社会」をつくり育てていくために、札幌市動物園条例を制定しました。

この条例に定められた「動物園応援基金」を設置し、積み立てられた市民・事業者の寄付金を動物園の保全活動などに活用していきます。

札幌市動物園条例の
条文や詳細はこちら



基金の目的



動物園における、野生動物の保全活動や
良好な動物福祉の確保に関する取り組みの促進

基金の仕組み



動物園
応援基金を
もっと知る



お問い合わせ先
札幌市円山動物園
TEL:011-621-1426
FAX:011-621-1428



寄付金の使い道

動物園応援基金にお寄せいただいた寄付金については、下記のような目的で活用させていただき予定です。

- 円山動物園で飼育する動物たちがより快適に暮らすための施設の改修等
- 円山動物園への動物の導入
- 札幌市が認定する動物園が行う野生動物の保全活動への助成等



例えば・・・

これまで円山動物園が取り組んできた活動を例にご紹介します。

※寄付金は、こうした施設の整備や保全活動に役立てます。

1. 動物福祉に配慮した獣舎の整備

動物の種類や個体ごとに適した生活環境を整え、動物福祉に配慮した獣舎を整備します。

■アジアゾウを飼育するゾウ舎(飼育環境)

円山動物園では、ゾウがより自然に近い形で生き生きと過ごすことができる工夫を盛り込んだゾウ舎を2019年にオープンしました。

- 屋内外の床材に砂を採用することにより、足の健康を維持し、横になって眠ることができます。
- ゾウ舎としては、国内初となる室内の水場(面積136㎡、最大水深3m)を設置し、ゾウが日常的に行う水浴びを冬でも可能にしています。
- クレーンを設置し、餌を高い所につるしたり隠したりすることにより、ゾウ本来の生活と同様に長い時間をかけて餌を探して食べることができます。



2. 野生動物の保全活動

希少な野生動物の保全活動を行います。

■ニホンザリガニプロジェクト

開発や外来種の影響などで生息数が減少しているニホンザリガニの保全のため、繁殖技術を確認し、円山地区の生息地への野生復帰、定着を目指しています。



■オオワシプログラム推進事業

北海道に生息する絶滅危惧種であるオオワシの保全のため、大学や研究機関との連携の下、将来の生息状況の悪化に備えて、飼育下繁殖個体を用いた野生復帰技術の確立を目指しています。



寄付の方法

下記の1または2、どちらの方法でも寄付いただけます。

1 札幌市に直接寄付を行う方法

- ① 下記の札幌市円山動物園ホームページ内「動物園応援基金への寄付のご案内」の「2 円山動物園に寄付申請書を提出いただく方法」から寄付申請書をダウンロードしていただき、記入欄に必要な事項を記入してください。
【Web】「札幌市への寄付のご案内」のホームページ入力フォームから直接申し出
【FAX】011-621-1428 に送信
【送付】〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1 札幌市円山動物園 寄付担当宛
【持参】上記送付先まで持参
【メール】zoo.kanri@city.sapporo.jp に送信

- ③ 寄付申請書を提出すると、後日、納付書(振込用紙)が郵送されるので、金融機関の窓口へ持参し振り込んでください。

■「動物園応援基金への寄付のご案内」のページ

詳細は右の二次元コードからWebサイトをご覧ください。



2 札幌市へのふるさと納税から寄付を行う方法

下記の札幌市ホームページ内「寄付をするには」のページから、ふるさと納税のお手続きをいただき、寄付金の使途に「円山動物園への支援(動物園応援基金)」を選択いただくと、動物園応援基金にご寄付いただくことができます。

■「寄付をするには」のページ

詳細は右の二次元コードからWebサイトをご覧ください。



寄付金控除について

本寄付は札幌市(円山動物園)への寄付にあたるため、税法上の控除を受けられます。詳細は右の二次元コードからWebサイトをご覧ください。

